

患者さんと奏でる 医療のハーモニー

Yokane・よかね^ね音

久留米大学医療センター

私たちの理念 一心が通い信頼される医療—

2024
Autumn
No.14



「備えあれば憂いなし」患者さんを守るため、防災訓練を行っています！



皆さまにとって「よかね！～Yokane～」と
思っていただけの病院を目指しています。

能登半島地震被災地への派遣を振りかえって ～専門的な視点を活かした活動～



久留米大学医療センターは、元旦に発生した能登半島地震に際し、7名の職員をJMATとして派遣しました。◎1回目：2/2～2/5、2回目：3/3～3/6

*JMAT(日本医師会災害医療チーム)：被災者の生命と健康を守り、被災地の公衆衛生を回復し、地域医療再生の支援を目的とする。

現地では主にどのような活動を行ったのでしょうか？

内藤：1回目の派遣は地震発生から1か月後で、地域の診療所に赴き被害状況や再開の目途について調査しました。患者さんにとって、かかりつけ医を受診できることは安心につながります。しかし、医療に必要な水・電気といったライフラインが復旧していない、医療機器が被害を受けレントゲンや心電図などの検査ができない、人手が足りないといった状況を目のあたりにしました。被災者でもある医療従事者のメンタルケアにも努めました。大事なものは、とにかく話を聴くこと、会話です。クリニックの医師が「患者さんはどうしているだろうか、電話はつながらないし、連絡先も変わってしまって生存確認ができない、病気のことで困っていないだろうか」と心配しておられたこと、一方で「復興しても人が戻ってくるだろうか」と不安を抱えておられたことが印象に残っています。

江崎：寒い時期なので、新型コロナウイルス、インフルエンザ、感染性胃腸炎といった感染症が流行しやすい状況でもありました。コロナのクラスターが発生した介護施設の支援を行いました。入所者や職員は水で手を洗うことができない、トイレで排泄した後に流す水もない。幸い支援物資の手指消毒アルコールがあったので、いつ、どのようにアルコール消毒を行うかなど、限られた資源の中で行うことができる対策を実践しました。私たちが去った後も、継続できるような支援が重要だと実感しました。

田中：私は2回目の派遣で活動する中、輪島方面に行く機会がありました。災害発生から2か月経っていましたが、瓦礫だらけで復興が進んでおらず、半島でアクセスが限られる、道路が寸断され支援が遅れるという地域特有の難しさがありました。地域医療が回復しないと医療難民が増え続けます。派遣先のクリニックでは、被害を受けた物を捨てて使用できる物を整理する作業を行いました。専門的な支援も必要ですが、医療を受ける場を復興するために「できることを頑張る」ことも大事だと思いました。

当院が災害対策を実践する上で、教訓として得られたことを教えてください

江崎：水とトイレの確保が課題だと実感しました。医療・介護施設には、利用者以外の方も助けを求めて集まります。水が足りずトイレにも行けないので飲むのを我慢してエコノミー症候群を起こしたり、尿を我慢して尿路感染を起こしたり、排泄物によって床ずれが起きたり、口の中も不潔になって誤嚥性肺炎を起こすなど、災害関連死につながる状況になります。

田中：久留米市は地理的に支援が得やすく、津波の心配もありませんが、水害・土砂災害や地震への備えが必要です。当院は地域性を考慮したBCP(災害による損害を最小限に抑え事業継続や復旧を図るための計画)を作成しています。パンケーキクラッシュといって建物が潰れることによる圧迫、外傷、骨折への対応や、備蓄の強化を図っています。

内藤：能登では多くの人々が助け合っていました。子ども、高齢者、障害者など災害弱者をいかに守るかも大事です。声かけ合い、助け合い、人と人で、地域で、日頃のつながりを大事にしていきたいですね。

プライマリ・地域医療ヘルスケアセンター

医師 **内藤 美智子** (写真左)

感染症看護専門看護師

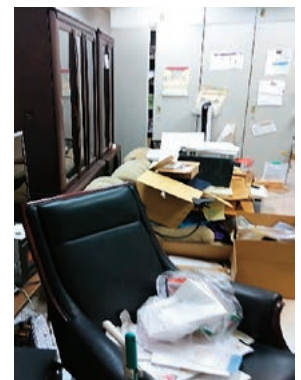
江崎 祐子 (写真中央)

老人看護専門看護師・防災士

田中 勝 (写真右)



写真左：地震発生より2か月後、倒壊した家屋



写真右：クリニックの室内、複数回片づけても散乱している

能登半島地震被災地への派遣を振りかえって ～JMAT 派遣メンバーからのメッセージ～



2月2日、JMATとして能登・輪島に行かせていただきました。発災から1カ月経ったとは思えないくらい被災の現場は生々しく、ライフラインも復旧が遅れていました。地形と道路事情が復旧を遅らせている原因であり、同じ石川県でも、北部と南部の復旧には大きな差がありました。

今回、私が支援をさせていただいたのは医療スタッフの方々を対象でしたが、そのほとんどは自らも被災しながら一般の被災者の方々にケアされていました。

最近ではニュースで取り上げられることも減りましたが、現状を検索すると復興どころかまだ復旧さえ先が見えていません。能登半島の被災地支援は膨大な時間と支援が必要だと言われています、私たちは、それぞれが何かしらの形で継続的な支援を行っていかねば…と改めて思っています。



外来看護師 **小島 由起子**
*JMAT 1回目：2/2～2/5 派遣



3階東入院棟看護師 **橋山 稚菜**
*JMAT 1回目：2/2～2/5 派遣

2024年1月1日に発生した、能登半島地震の被災地石川県輪島市と能登町に、福岡県JMATとして2月2日より3泊4日の災害支援に入りました。発災後1ヶ月の現地は、まだ現状の把握もできていない地域がありました。実際に町を見たときに、テレビの報道で見たままであり、多くの家屋が倒壊し、被災直後と何も変わってないように感じました。

しかし、活動中に出会った現地の方々は、全国からのボランティアや支援物資等に感謝しながら、日常を取り戻そうと一生懸命に生活されていました。今も被災地で頑張っている方が多くいることを忘れず、想いを寄せていきたいと思えます。

最後に、全国の災害派遣チームと一緒に活動する、貴重な体験をさせていただいたことに感謝いたします。



私は、看護師として被災者の方々の役に立ちたいと思い、JMATでの派遣を希望しました。災害支援の経験はなかったのですが、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターの資格を取得しているので、一般にエコノミー症候群といわれる「深部静脈血栓症」予防について助言を行うなど、力になれることがあったと思えました。

被災地の医療機関の診療支援や、施設・避難所の巡回は他チームが担当されており、私たち福岡県チームはJMAT本部での統括を任せられました。各地の部隊に連絡をとり、スケジュールを確認するなどの調整を行いました。

私たちが暮らす福岡県、久留米市も、高齢化が進んでいます。もし災害が起きたとしたら…。一人ひとりがどのように動くべきか？ 常日頃から考える必要があると実感しました。



3階西入院棟看護師 **村上 道子**
*JMAT 2回目：3/3～3/6 派遣



地域連携ネットワーク ～陸上自衛隊久留米駐屯地より～ 久留米駐屯地 広報班



駐屯地シンボルマーク

こんにちは。陸上自衛隊久留米駐屯地です。久留米駐屯地は、戦前「軍都久留米」と呼ばれた久留米市に旧陸軍の跡地を受け継いで駐屯地が開設され、地域の皆さんの温かいご声援をいただきながら発展してきました。

久留米大学医療センターには、日頃より久留米駐屯地の活動に対するご理解とご協力をいただき、大変感謝しています。特に、久留米駐屯地各種行事の際には、久留米大学医療センター駐車場を利用させていただいており、恵紙病院長に令和6年度久留米駐屯地司令感謝状を贈呈させていただきました。また、令和6年度からは、久留米駐屯地診療委託医および駐屯地モニターとして、廣松副病院長にご協力をいただいております。

今後も地域に信頼され、皆さまに「よかね！」と思っただけの駐屯地となれるように精進してまいります。変わらぬご厚誼を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



駐屯地診療委託医



駐屯地司令感謝状贈呈式

◎駐屯地の情報や隊員の活動状況などを随時発信しています！ 以下にアクセスしていただきご覧ください。



エックス



フェイスブック



インスタグラム



ホームページ



福岡地方協力本部



きのこのかき揚げソバ

食欲の秋♪きのこが美味しい季節です。夏でちょっと疲れた胃腸を癒やす、さっぱりとした「きのこのかき揚げソバ」をご紹介します。

きのこには食物繊維、ビタミンDが豊富に含まれ、骨形成を助けます。日本人に不足しがちな栄養素ですので、きのこ類は小鉢一杯程度、食べたい食品です。ソバは他の麺類に比べ、ミネラル、たんぱく質を多く含んでおり、食塩が入っていないので、嬉しいですね。

材料 (1人分)

ソバ(生)	1玉	しめじ	5本
だし	カップ一杯半	エリンギ	1/2本
酒	小さじ2杯弱	舞茸	ひとつかみ
みりん	小さじ3杯弱	玉ねぎ	1/8個
醤油	小さじ2杯弱	小麦粉	大さじ2杯
小ねぎ	適量	食塩	ひとつまみ
		水	大さじ2杯

栄養価

エネルギー	: 451kcal
たんぱく質	: 12.9g
脂質	: 11.7g
炭水化物	: 73.0g
食塩相当量	: 1.9g

作り方

- ① だし、酒、みりん、醤油、食塩を入れて沸騰させる。
※麺は、あらかじめ茹でておく。
- ② しめじ、エリンギ、舞茸と玉ねぎを、水で溶いた小麦粉に混ぜ合わせる。
- ③ ②を約180℃に熱した油でさっと、きつね色になるまで揚げる。
- ④ 温めただしに、茹でたソバを入れ、かき揚げと刻んだ小ねぎをのせる。
お好みで、一味や七味唐辛子をかけて召し上がれ！
※バランス面を考慮してサラダ等を添えましょう。



管理栄養士 松本 尚宣 (写真右)
副主任調理師 新藤 咲子 (写真左)



間く・効く！元気のツボ

主任薬剤師 野口 朱美
* JMAT 2 回目：3/3 ~ 3/6 派遣

～ JMAT 派遣メンバーからのメッセージ～ 災害への備え お薬のお話

地震や豪雨、台風などの自然災害時のために、お薬の備えはできていますか？
もしもの災害時に役立つ、「お薬3カ条」を紹介します。

1. いつも飲んでいる薬は3日分持ち歩く

3日分、できれば1週間分のお薬を手元に持っておきましょう。自分に必要な薬は、予備があると安心です。病院や医療機関でもらう薬の場合は、予備の薬をもらえるよう主治医に相談しましょう。

2. お薬手帳は常に持ち歩く

医療機関で処方された薬の情報を、正確に伝えることができます。お薬手帳に副作用歴やアレルギー歴をメモしておくとういでしょう。最近はスマートフォンに登録できる「電子版おくすり手帳」も充実しています。お薬の内容を写真で撮って保存しておくだけでもお薬手帳代わりにすることができます。

3. 市販されている薬を常備しておく

あると役に立つお薬をドラッグストアなどで購入し、常備しておきましょう。

◎購入しておきたい常備薬

- ①胃腸薬 ②かぜ薬
- ③解熱鎮痛剤 ④アレルギー薬
- ⑤目薬 ⑥虫さされ用のぬり薬



厚生労働省ホームページより

災害への備え ～病院備蓄食について～

栄養室副部長補佐
坂口 美紀

皆さん、災害時の備えは万全ですか？ 災害時には、水やガス、電気などのライフラインがストップすることもあるため、災害時に生きるために必要な量の栄養素を補給することが必要不可欠です。

当院では災害に備え、患者さんおよび職員の非常食をマニュアルとともに保管しています。非常食の備蓄は、災害時に滞りなく準備できるよう、各病棟フロアーに保管しています。また、年に1度、9月1日の防災の日に、防災意識向上の目的で、非常食の準備・作成・試食などの訓練を行っています。



 **久留米大学医療センター**
KURUME UNIVERSITY MEDICAL CENTER

〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155-1

TEL : 0942-22-6111 (代)
<http://iryo.kurume-u.ac.jp>

発行所 久留米大学医療センター広報委員会
委員長 廣松 伸一



久留米大学医療センター 外来診療一覧表

令和6年9月1日現在
最新の情報はホームページ等でご確認ください。

受付時間：8:30～11:00、13:30～15:00

診療日：月～金 (午後は予約診療のみ)

麻酔科：術前診察のみ(予約制)

休診日：土・日・祭日・年末年始・盆休(8/15)

代表電話：0942-22-6111

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療科	川口 勝輝	向原 圭 内田 考紀	向原 圭 内田 考紀	向原 圭 内田 考紀	黒岩 望
プライマリ・地域医療 ヘルスケアセンター		内藤 美智子		内藤 美智子 弥永 浩 (乳腺外来・第1・3のみ予約制)	
消化器内科	井出 達也 江森 啓悟	井出 達也 緒方 啓	井出 達也	井出 達也 藤田 博正	緒方 啓 江森 啓悟
循環器内科 (睡眠時無呼吸外来) (脂質異常症外来)	甲斐 久史 佐々木 基起 大地 祐輔	甲斐 久史 翁 徳仁 大地 祐輔	甲斐 久史 青木 裕司 岩城 彰浩	翁 徳仁 佐々木 基起 岩城 彰浩	翁 徳仁 青木 裕司 (佐々木 基起)
禁煙外来	※薬剤出荷制限につき当分の間休診				
糖尿病センター	和田 暢彦 春田 寛子	和田 暢彦	曾根崎 文 春田 寛子	和田 暢彦 曾根崎 文 廣松 雄治 (甲状腺外来)	春田 寛子 中村 由育
小児科	大津 寧 山下 大輔 田中 聡子(午前)	大津 寧 牛島 高介 (午前・完全予約制)	大津 寧 山下 大輔	山下 大輔 田中 聡子(午前)	大津 寧 山下 大輔
(専門外来)	小児成人病				
精神科 (午前) (予約制)	土生川 光成 (精神科外来/睡眠外来・初診)		土生川 光成 (再診)	山下 裕之 (もの忘れ外来・初診)	土生川 光成 (精神科外来/睡眠外来・初診) 音琴 佐和子 (リエゾンのみ)
(午後) (予約制)				土生川 光成 (再診)	土生川 光成 (リエゾンのみ)
先進漢方 治療センター (午前) (予約制)	恵紙 英昭 (漢方精神科・内科)	恵紙 英昭 (漢方精神科・内科) 田中 聡子 (漢方小児科)	上松 章子 (女性外来・漢方内科・循環器科)	本岡 真紀子 (漢方精神科・内科・第2・3・4・5)	恵紙 英昭 (漢方精神科・内科) 後藤 薫 (漢方婦人科・第1・3) 家入 彩嘉 (漢方精神科・内科・第2・4)
(午後) (予約制)	田中 聡子 (漢方小児科)	田中 聡子 (漢方小児科)	恵紙 英昭・田中 聡子 (フクロウ外来・第1・3) 山下 大輔 (漢方小児科) 清川 千枝 (漢方皮膚科・第3) 沈 龍佑 (漢方精神科・内科・第1) 黒川 慎一郎 (漢方泌尿器科・第1・不定期)	亀尾 順子 (女性外来・漢方内科・内分泌科) 田中 聡子 (漢方小児科) 薬師寺 和昭 (漢方内科・第2・4)	
整形外科・ 関節外科センター (午前)	大川 孝浩 久米 慎一郎 田淵 幸祐 原口 敏昭 木内 正太郎	後藤 昌史 大園 宏城 江崎 佑平 古森 元崇	大川 孝浩 大園 宏城 原口 敏昭 森山 弘朗 林田 一友	田淵 幸祐 木内 正太郎 山下 明浩 山下 明浩	後藤 昌史 久米 慎一郎 江崎 佑平 森山 弘朗 西田 一輝
(午後) (予約再診)		江崎 佑平 (足の外科予約のみ) 樋口 富士男 (予約再診のみ)	大川 孝浩 (第1のみ予約制)	田淵 幸祐 木内 正太郎 山下 明浩 稗田 寛 (第2・予約制)	
リハビリテーション科 (予約制)	名護 健	荻野 美佐 (第4)	柳 東次郎(第1) 馬場 敦子(第2・4) 兼行 祐司(第3・5)	牧 悠之	兼行 祐司
フットケア・ 下肢血管病センター	非常勤医 (形成外科・予約制)	廣松 伸一 (血管外科・予約制)		廣松 伸一 (血管外科・予約制) 非常勤医 (形成外科・予約制)	井野 康 (形成外科・予約制)
泌尿器科	末金 茂高	末金 茂高		伊東 直城	伊東 直城
放射線科	東南 辰幸	東南 辰幸 (午前) 非常勤医 (午後)	東南 辰幸	東南 辰幸	非常勤医 (午前) 東南 辰幸 (午後)
皮膚科		非常勤医 午前のみ		非常勤医 午前のみ	
眼科				非常勤医 午前のみ (完全予約制)	

【看護外来】

看護外来時間：13時30分～16時 (事前にご連絡頂ければ、希望の時間で対応は可能)

診療科名	月	火	水	木	金
心不全看護				本山 公子 (第2・4週)	
がん看護(緩和ケア)			田代 明美 (第1・3週)		
認知症看護				中島 純子 (第1週)	
フットケア					フットケア指導士 フットケア外来看護師